

日医標準レプトソフト ORCA対応



医療DXツール

電子カルテを導入しなくても

医療DXの実現を

令和7年 9月30日以降

医療DX推進体制整備加算が算定できなくなります!

※電子カルテ情報共有サービスを活用できる体制を有していない場合は、算定できなくなります。



令和7年9月までに導入した医療機関は補助金を活用することが可能です

医療DXツールに関するご質問・ご相談はお気軽にご連絡ください

販売店

CSGジャパン株式会社

〒830-0051 福岡県久留米市南2丁目14-47

医療DXツール
Webサイト



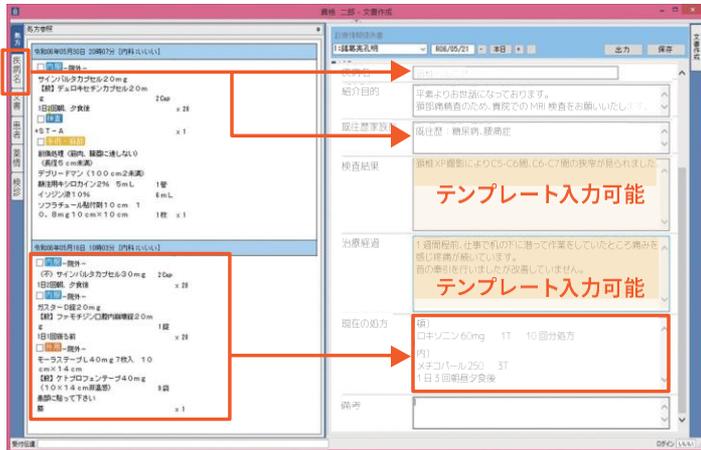
メーカー

株式会社メディカルJSP 〒604-8151 京都市中京区蛸薬師烏丸西入橋弁慶町225 藤和ビル2階 ☎ 075-254-2700



いきなり電子カルテはハードルが高い…。今の体制を大きく変えることに抵抗がある…。そんな医院様の声にお応えして誕生した「医療DXツール」。

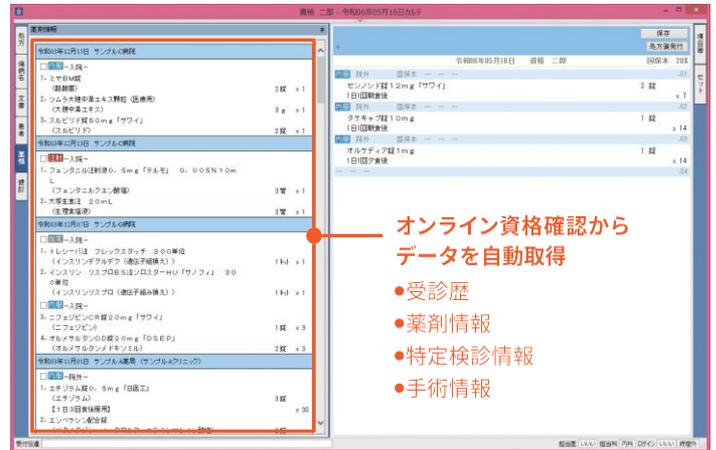
医療DXの対応を容易に行うことができ、低コストで作業効率化を図ります。



Function 1 | 書類の作成機能

日医標準レセプトソフト (ORCA) と連携が可能。主治医意見書ほか様々な書類の作成時間を大幅に削減します。患者情報の自動入力や、テンプレート形成、過去作成した文章をそのまま転用が可能です。

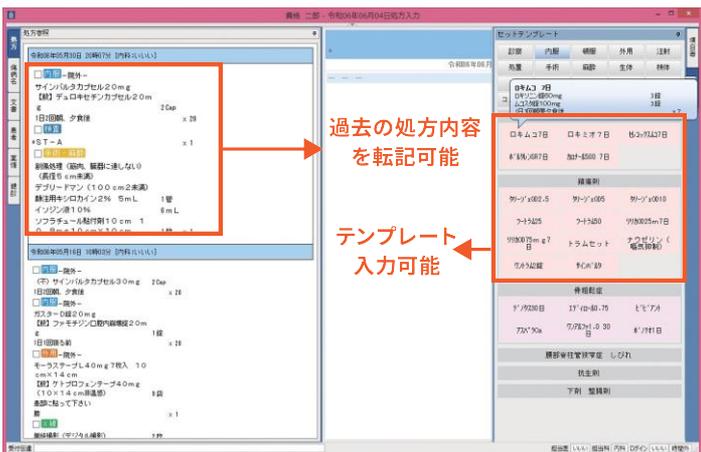
内科は嬉しい「生活習慣病療養計画書」が、自動入力により1~2分で完成します。



Function 2 | オンライン資格確認から取得した情報の閲覧機能

オンライン資格確認システムで取得した患者の受診療・手術等の情報 (薬剤情報を含む) や特定健診の結果が診察室で閲覧可能になります。

これにより診察時のコミュニケーションの円滑化、正確な情報に基づいた診療を行うことが可能となります。



Function 3 | 電子処方箋機能

政府が推進する電子処方箋に対応。

日医標準レセプトソフト「ORCALレセコン」に入力した処方内容をそのまま取り込めるため、面倒な入力作業は不要です。現場の負担を増やすことなく、スムーズに運用できます。

従来通り紙の処方箋発行も可能です。



Function 4 | 電子カルテ情報共有サービスへ登録機能

電子カルテ情報共有サービスに登録が必要な情報 (3文書6情報) をわずかな手間で登録が行えます。紙カルテのまま電子カルテ情報共有サービスの対応が可能となります。

3文書

- ① 診療情報提供書
- ② キー画像等を含む退院時サマリー
- ③ 健康診断結果報告書

6情報

- ① 傷病名
- ② アレルギー情報
- ③ 感染症情報
- ④ 薬剤禁忌情報
- ⑤ 検査情報
- ⑥ 処方情報